

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年08月10日

計画の名称	播磨町における循環のみちの実現(3)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	播磨町												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	252	A	252	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を97.9%(R2)から98.8%(R6)に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	98%	98%	99%
	下水道を利用できる人口(人)/総人口(34,609人・平成31年3月末現在)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	播磨町	直接	播磨町	管渠(汚水)	新設	播磨西処理分区他(汚水管)	汚水管 200mm L=1,750m	播磨町						170	-	
	A07-002	下水道	一般	播磨町	直接	播磨町	管渠(汚水)	新設	播磨東処理分区他(汚水管)	汚水管 200mm L=840mm	播磨町						82	-	
											小計						252		
											合計						252		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	4.59	11.024			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	4.59	11.024			
前年度からの繰越額 (d)	0	2.79			
支払済額 (e)	1.80	13.814			
翌年度繰越額 (f)	2.79	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

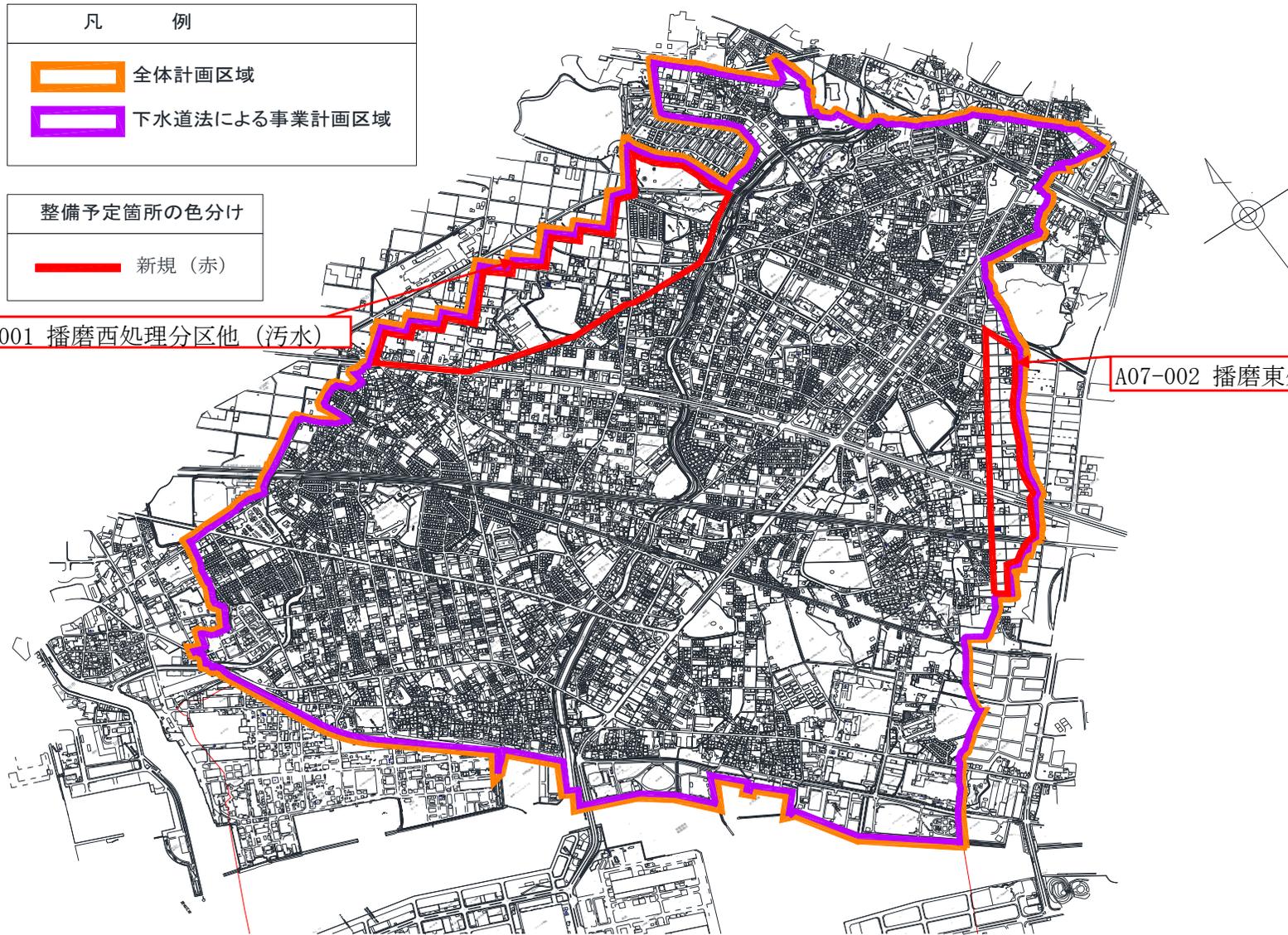
計画の名称	播磨町における循環のみちの実現（3）		
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	交付対象	播磨町

凡 例	
	全体計画区域
	下水道法による事業計画区域

整備予定箇所の色分け	
	新規（赤）

A07-001 播磨西処理分区他（污水）

A07-002 播磨東処理分区他（污水）



事前評価チェックシート

計画の名称： 播磨町における循環のみちの実現（３）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画（下水道事業計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備個所の位置づけが設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が住民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
I. 目標の妥当性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○

